独立混成第八九旅団輜重隊（至純第二三〇九〇部隊）略歴

陸軍大尉　林　貞　喜　之　助

年月日	概要
	部隊の一部
	部隊長　陸軍少佐　厚谷武二
	主力は在上海
昭二〇、二、三〇	第三次帰還要員として林大尉以下三九八名の編成完結す
二、三五	部隊は軍令陸甲第一八号に依り編成完結す於上海
昭二一、一、一〇	呉淞（上海）集中営を出発
	上海市政府に到着一泊
一、一二	〇八〇〇より一〇〇〇の間中国側により携行品検査を受く
	一三〇〇米国上陸用舟艇母艦LST六五六号に乗船
	上海港出帆
一、一四	一一〇〇佐世保港に到着上陸す
一、一六	菊沢准尉は二日市支那派遣軍二日市出張所に到着
	事務整理着手
一、二四	整理完了し復員す

3151

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭二〇、一、二五	部隊は近輜第二野戰補充隊に於て動員を完結
二、七	假備を以て大陸經由湯州に向うべく前進
	上海に於て第一三軍司令官の親下に入り第六十一師團長の指揮下に入らしめらる
二、三五	上海に於て編成完結
	独立混成第八十九旅團輜重隊と改稱す
自二、一〇 至六、二〇	光号作戰に參加し上海周辺の築城資料の輸送業務に從事す（第六一師團長の指揮下）
自六、二〇 至七、二六	第六一師團長の指揮を脱し第一一八師團長の指揮下に入り大倉附近の築城資材の輸送に從事す（主力）
	一部は昆山附近の水路輸送に從事す
七、三〇	第一一八師團長の指揮下を脱し原所屬復帰の命に接す
七、三一	奉化県の旅團に復帰すべく大倉出発
八、七	奉化に着　旅團に復帰す
自八、七 至八、一四	奉化反舟口鎮の警備及輸送に從事す
八、五	停戰詔書発布
八、二六	旅團集合の為奉化出発

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

5 外 中支3

年月日	概要
昭二〇、八、八	上海着
八、五	復員下令
一二、二五	復員を開始
昭二一、四、一〇	全員復員完了

3153

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
	部隊歴史
昭二〇・二・七	上海到着
二・一〇	第六一師団長の指揮下に入らしめらる
	同地の警備及に築城資材の輸送を実施
二・二四	任支部隊臨時編成下令
二・二五	編成完結
	独立混成第八九旅団輜重隊（通称号至急二三〇九〇部隊）と改称
三・一	一部（第二中隊）を同地に残置し主力は（本部第一中隊）呉淞出発
	上海市中心地区所在国立上海大学に移駐
	江竜周辺の警備同地区築城資材の輸送業務を実施
三・九	第中隊は第六一師団輜重隊に主力は第三〇六三部隊に配属
三・二〇	在江竜東兵舎に移動任務続行
四・九	部隊主力は東兵舎を撤収
	近在江竜華中運輸省舎に移転
六・二〇	第一八一師団長の指揮下に入らしめらる
六・二六	部隊主力は汽車行により上海出発

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二〇、六、七	太倉縣太倉着
	本部は同地に位置
	第一中隊は劉家鎮及蘇州に駐屯
	第二中隊は呉淞より南翔に至る
	各々同地区の警備及築城資材の輸送業務に従事
七、七	原所属復帰の命に接し第一一八師団長の指揮下を脱し再び太倉出発
八、七	浙江省奉化縣溪口鎮着
	同地の警備を実施
八、四	停戦の詔書発布
八、六	旅団集合の為溪口鎮出発
八、八	上海帰着
	主力は保家渡路南市陸軍病院に一部は楊樹浦高昌廟舎に收容
八、五	復員下令
九、二	停戦協定調印
	兵器馬匹の武装解除を受け之が返納馬匹管理の為将校以下一〇〇名を南市病院及高昌廟舎に残置
九、三	呉淞日華紡績会社に集中宿営を命ぜらる

3155

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

	旅団病馬廠及独立自動車二五八中隊一ケ小隊の配属を受けその復員を準備し来れり
一三、五	場樹浦馬管理廠その任務を終了帰隊
一三、三五	第一次復員者一三〇名
一三、三〇	第二次として配属中の病馬廠二四名全員
昭二、一、一〇	第三次復員者として三九八名
一、一〇	（当日附を以て自動車隊は当隊に転属）
	自動車廠全員を含む一六四名の第四次復員者出発
一、一三	第七兵站勤務隊要員として将校を長とする五五名は第一三軍司令部に転属
	残余は部隊長以下二三名他に中隊長以下七九名 七九名は凱口性畜市場にありて依然中国側馬管理に任ず
	併せて一〇二名
一、二〇	部隊長以下二三名は旅団司令部に集合完了
	尚作年編成完結以来当部隊入院患者数は七〇名を前後しつつありて現在六〇名外に逃亡兵一を有す。
	入院患者の大半は胃腸疾患にしてその他は胸膜炎、脚気等にして殆ど帰隊の見込み少きものと思考す、
四、三	復員式

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭三、四、三	一〇四名江蘇省宝山県吳淞鎮ヤ三集中宮を出発
四、四	乗船出帆
四、七	博多着
四、一〇	上陸
	復員式挙行
	爾ヲ後各部都道府県に分遣帰郷す
	今次復員に依り部隊全部（八〇六名）復員完了す

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立混成第八十九旅団輜重隊の一部略歴

年月日	概要
昭二、三、三	大田伍長以下九名並伊藤主計軍曹外五名帰還要員として吳第六兵舎にて編成
	〇六〇〇吳第六兵舎出発
	〇九〇〇旧市政府到着
	中国側検査を受検
三、九	船待ちの為同所に於て宿泊
三、一〇	一五〇〇飯田橋より敷設艇済州に乗船
三、一一	輸送指揮官独歩五二五大武田大尉
三、一四	〇九〇〇博多港上陸
	一四〇〇迄に諸給与その他順調に完了
	復員式挙行
	残務整理者太田伍長を残し伊藤主計軍曹以下九名は一四、一三博多駅発復員列車にて夫々帰郷せり
	輸送間の事故なし

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

臨立混成第八十九旅団勤務隊（至誠第二三〇九一部隊）略歴

陸軍大尉　金親辰夫

年月日	概要
昭二〇、二、五	陸令甲第一八号に依り編成
	浙江省桐清縣中埠田に於て編成
	編成以来温州周辺地区に於て陣地構築水路輸送倉庫業務に服す
六、三	集合作戦に参加
	奉化県奉化に至り同地附近警備並に陣地構築作業に従事
八、八	終戦の為上海集結を命ぜられ奉化出発
九、一	上海到着
昭二一、一、二四	復員の為上海出発
一、七	博多到着
一、一	第一次復員召解ずみ
一、一七	第三次復員博多着

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立混成第八十九旅団野戦病院（至純少二三〇九二部隊）略歴

陸軍軍医大尉　貴志義雄

年月日	概要
昭二〇、二、五	昭和二十年軍令陸甲第十八号により中華民国浙江省衢清縣十里村に於て編成完結
	構成人員
	少六十五師団野戦病院少二二部を以てし長以下一四八名
自昭二〇、二、五 至昭二〇、六、二〇	中華民国浙江省衢清県十里村に野戦病院を開設
昭二〇、六、二	集号作戦参加のため駐地より行動開始
七、七	浙江省奉化県奉化に到着
	同地に於て病院開設
八、三	移駐の為閉鎖
八、一六	然戦と為り同地を出発
八、二八	上海に集結
昭二一、一、七	第一次帰還　九五名
三、一四	主力帰還　四三名　現地残留者なし

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立混成第八十九旅団野戦病院の一部略歴

陸軍軍医大尉　貴志義雄

年月日	概要
昭二〇、二、二五	編成
自昭二〇、三、二五	中華民国浙江省温州附近警保並に衛生業務
至　五、三	
自　五、二四	集合作戦参加
至　七、八	
自　七、九	中華民国浙江省奉化（寧波西方約三十粁）附近警備並に衛生業務
至　八、七	
昭二〇、八、八	浙江省奉化出発
八、二八	上海到着以後衛生業務並に待命中
昭二一、一、八	部隊一部帰還の内命
一、二三	部隊一部帰還命令
一、二四	陸軍々医大尉原田司郎吉以下九五名乗船（上海呉淞）
一、二七	上海港出発
一、二七	鹿児島港上陸
	現役満期除隊並に召集解除

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立混成第八十九旅団病馬廠（至終戦二三〇九三部隊）略歴

陸軍獣医大尉　富秋和昌

年月日	概要
昭一〇、三、五	軍令陸甲第一八号に依り楽清縣重石にて編成
昭一九、七、二〇	温州作戦参加の為第六十五師団病馬廠の半部を以て編成し梁岡支隊に参加す
九、九	楽清縣盤石に病馬廠を開設し病馬の收容及び診療を為し各隊の装蹄を援助す
昭二〇、二、五	軍令陸甲第一八号に依り旅団病馬廠を編成す
六、八	集合作戦に参加
	奉化（浙江省）に駐屯
	病馬廠を開設
昭二一、八、四	終戦の為集結を命ぜられ上海（呉淞）に集結す
二、三、七	復員の為上海出発
昭二二、一、八	佐世保に入港す
	上海にて現地除隊一名の外全員無事内地帰還召解

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立混成第八十九旅団防疫給水部の一部略歴

陸軍軍医大尉　前田玄治

年月日	概要
昭二〇、二、二五	軍令陸甲第一八号に依り浙江省桑青県に於て編成完結
自昭二〇、二、二五	
至　五、二四	温州沿岸警保
自　五、二五	
至　七、八	集合作戦参加
自　七、九	
至　八、一三	奉化附近の防疫業務
昭二〇、八、一四	上海集結の為奉化出発
八、二五	寧波到着
	停戦詔書拝領
八、七	寧波出発
八、二五	杭州到着
八、二六	列車輸送に依り杭州出発
八、二六	上海市第百七十三兵站病院に到着

3163

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭二〇、九、六	第百七十三兵站病院業務援助
至 九、五	
昭二〇、九、六	上海吳淞地区に集結を命ぜられ兵站病院出発
昭二〇、一〇、八	帰還内命を受け一部人員の復員準備
	主力吳淞地区に残置一部人員帰還
一〇、三	上海港出発
一〇、七	日本船に依り鹿児島に上陸
	残務整理者 一名 陸軍軍曹 細島 正
	第一帰還者 衛生軍曹細島正以下一四名（残務整理者を含む）
三、頃	部隊主力 部隊長前田軍医大尉一一名 残務書類携行し上海吳淞出発の予定

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立混成第九十一旅団略歴

年月日	概要
昭五、二、七	臨編第一号により第二二号編成下令
	第一一野戦補充隊編成着手
二、三	陸亜機密第四号により第一一野戦補充隊増加所属人員編成下令
	編成着手
二、三五	第一一野戦補充隊編成完結
	将校及び下士官の大部分は関東軍陸軍兵事部所管の満州在住応召者、兵は満州第五部隊より編成要員として到着せる者を基幹としその他西部第四六、四七、四八部隊より到着せる編成要員を併せ編成す
	該編成は補充隊本部、歩兵三個大隊、砲兵隊、工兵隊を以て編成し補充隊長岩本少将以下総員四八七一名なり
	編成人員 内訳左記の如し
	記
	補充隊本部 三八名
	歩兵大隊 (本部、一般中隊四、機関銃中隊一、歩兵砲中隊一)
	計 一四七八名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三個大隊　計　四四三四名
砲兵隊　（本部、一中隊）　計三二一名
工兵隊　（本部、一中隊）　計一七八名
総計　四八七一名
馬匹
日本馬　九一頭
支那馬　なし

自昭五、三、一　蒲州国奉天、安東、錦州各鎮成地出発
至　二、三、四
自　三、一〇　中華民国浙江省寧波、諸暨省
至　二、三、二五　同日より、鉄南地区及び浙贛鉄道の警備
昭五、三、二五　第一野戦補充隊増加配属人員便鎮成完結
二、三　将校准士官下士官（曹長以上は主として名古屋師団隷下部隊に一部は京都、大阪、姫路師団に応召したる者
下士官（軍曹以下）兵在郷各歩兵部隊抽出鎮成人員を基幹とし假鎮成す
歩兵一個大隊の鎮成は一般中隊五、歩兵砲中隊一　通信中隊一にして第四大隊より第一一大隊迄一個大隊の人員約一一五六名なり
該人員は当時被服は時服を着用し兵器は個人装備（小銃のみ）のみにして部

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
	隊装備は皆無なり
自昭五、三、五 至 三、五	増加配属人員は中華民国江蘇省南京着
昭五、三、六	第四、第五、第九、第一〇の四個大隊将校以下四六六〇名は第四野戦、補充に配属
	同日第六、第七大隊の二個大隊は第一野戦補充隊に
	第八、第十一大隊の二個大隊は第二野戦補充隊に配属
六、三	河南作戦参加
	岩本少将以下約一三〇〇名（本部、第一大隊、砲兵隊、第二、三大隊の一部）
	河南作戦参加の為鄭州地区徐州に向い出発
自 六、四 至 七、一〇	鄭州作戦参加（残留部隊）
昭五、六、五	南船参一第一四〇号に據り第一、二、四野戦補充隊に配属中の増加配属人員は全員該補充隊に転属
自 一〇、五 至 一〇、二四	浙南地区秋季掃正討伐に参加

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

自　一〇、二五
至昭二〇、一、三

中華民國浙東地区にありて海岸陣地構築

昭二〇、一、二五　中支那野戰補充廠より日本馬一五〇頭転入

二、二　慈谿附近骨幹陣地構築に着手

二、五　第六一師団及第一一六師団（南京帯留人員）より補充要員として将校以下二〇九六名転入

二、二〇　軍令部甲第一八号に基り組立混成第九十一旅団編成着手

二、二五　組立混成第九一旅団編成完結

第一一野戰補充隊本部、第一大隊、第二大隊、第三大隊、第四野戰補充隊より転入

人員二、四三九名を基幹とし編成す

該編成は旅団司令部、歩兵五個大隊、砲兵隊、工兵隊、通信隊を以て編制

旅団長宇野少将以下九五七一名なり

編制人員内訳左記の如し

左記

旅団司令部　三九七名

歩兵大隊（本部、一般中隊四、機関銃中隊一、歩兵砲中隊一）五箇中隊）

五箇大隊　計七五一四名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
	旅団砲兵隊（本部、中隊三）八二六名
	旅団工兵隊（本部、中隊二）六〇二名
	旅団通信隊二三二名
	総計　九五七一名（編成定員八四三九名）
	差引過剰員一一三二名
	馬四　日本馬　二一四頭
	同日　第十一野戦補充隊復員完結
	同日より浙東地区の陣地構築
昭二〇、二、五	対南作戦参加の岩本少将以下約一一〇〇名第三十一師団歩兵第九五旅団編制基幹要員として転属
三、五	独立歩兵第六旅団より編制要員として准士官以下約一二〇〇名転入
	輜重第五一大隊より日本馬大頭　大陸馬五四頭計六〇頭転入
三、二〇	中支那野戦自動車廠編制要員として将校以下四三六名転属
	第一三三師団に砲兵二〇〇名転属
	中支那野戦兵器廠編制要員として将校以外四一名転属
四、九	北支軍より通信下士官以下一一〇名転入
四、一〇	中支那野戦補充馬廠より日本馬五〇頭　大陸馬五〇頭　計一〇〇頭転入

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、七	本土兵備要員として朝鮮軍管区司令部に将校二二名転属
四、五	移駐のため寧波出発
	中華民国浙江省慈溪着
	同地にありて浙東地区の陣地構築
五、一〇	支那派遣軍野戦造兵廠編成要員として下士官以下三七六名転属
六、三	本土兵備要員として東部軍管区司令部に将校三名転属
	本土兵備要員として西部、朝鮮軍管区司令部に将校以下二三四名転属
	本土兵備要員として朝鮮軍管区司令部に将校一五名転属
自 六、二八	
至 七、二	集合作戦参加
自 七、三	
至 八、一四	浙東地区の陣地構築
八、五	第七十師団より日本馬二五頭　大陸馬二五頭　計五〇頭転入
八、一四	停戦協書発布
八、二五	復員下令
九、二	停戦協定締結
自 八、一四	
至 九、三	中華民国浙江省慈溪県慈溪に駐留

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二〇、九、三	蕪湖出発
自 九、二四	中華民国浙江省蕭山に駐留
至 九、二九	
九、三〇	蕭山出発
一〇、四	中華民国浙江省嘉興縣嘉興に到着
	同地に駐留
	復員準備
昭二一、二、八	内地帰還のため嘉興出発
	上海到着
五、六	上海港出帆
五、三	鹿児島港上陸
	復員式修了
一、一〇	田崎大尉以下五三五名博多上陸
一、二三	宇賀少尉以下三四名博多上陸
四、六	小森中佐以下三四五名 佐世保上陸
五、三	宇野少将以下二六九名 鹿児島港上陸
	旅団全員帰還完了

3171

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立混成第九十一旅団略歴

陸軍少尉　実松　新

年月日	概要
昭二〇、二、二〇	軍令陸甲第一八号に依り編成改正
二、二五	編成完結
	第一一野戦補充隊復員完結
昭二、二、二六	独旅混成第九一旅団編成
	学徒復学のため独立混成第九一旅団管下該当将校二十名　下士官二名　兵一名計二十三名に復員内報下令
三、七	上海市政府到着
	第一三軍司令部学徒隊本多中尉の指揮下に入る
	輸送指揮官東少佐の指揮下に入り第三二幡州丸に乗船す
二、八	上海出帆
三、四	博多港到着
	復員式挙行
	復員を完了す

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一復員十一旅団司令部の一部略歴

陸軍中佐　小原二郎

年月日	概要
昭二一、四三	第一復員十一旅団司令部の一部は小原中佐以下三四七名米国輸送船LST七二〇号により上海飯田桟橋出帆
四、六	一二、三〇佐世保港に無事到着
	残務処理者小原中佐以下三名を除き除隊召集解除せらる
	佐世保港上陸後は元針尾海兵団兵舎に入り上陸地における所定の復員業務を実施
自 四、七	
至 四、八	二三時より翌日午前に亘り四ケ列車に分乗各々帰郷の途に就かしむ
四、八	陸軍中佐小原二郎　陸軍軍曹深江勝美同生野房太は残務整理者となり二日市復員本部に勤務
	総ア帰郷
	陸軍主計大尉徳永知夫以下三名復員本部に至り整理に関する残務を処理即日帰郷す。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立混成第九十一旅団先遣隊略歴

陸軍軍医少尉　明神

年月日	概要
昭二一、一、七	内地帰還のため上海出帆
一、一〇	佐世保港帰着
一、一三	衛生部員三三名通訳一名　計三四名、L、S、T、にて上海還送される
一、二六	上海着
一、二八	内地帰還のため上海出帆
一、三	博多港帰着
	主力と分離後輸送間及その後に異故なし

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立歩兵第六百三十一大隊略歴

陸軍少佐　原田清人

年月日	概要
昭二〇、二、二〇	軍令陸甲第一八号に依り中支浙江省寧波に於て第一一野戦補充隊歩兵第二大隊を基幹とし独立混成第九一旅団独立歩兵第六三一大隊の編成に着手
二、二五	編成完結
自二、二五	浙東地区寧波、象山、大榭城慈谿附近の警備並陣地構築
至八、四	
自八、五	浙江省慈谿に駐留
至九、三	
九、三	集中の為慈谿出発
九、九	浙江省嵊山に於て兵器譲渡完了
一〇、一	浙江省嘉興に到着
自一〇、一	嘉興に駐留　復員準備
至昭二一、三、七	
昭二一、三、八	内地帰還の為嘉興出発
四、二	上海港出帆

3175

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四五

佐世保上陸
部隊兵力　一六三七名
編成完結時総兵力
その後の転入　八五名
〃　転出　三八七名
復員時除隊召集解除者　一二一六名
死亡　三六名
生死不明　五名
入院　七八名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立歩兵第六百三十二大隊略歴

年月日	概要
昭九、二、七	臨編第一号に據り第二二号編成下令
二、二〇	第一一野戰補充隊第三大隊編成着手
	第一一野戰補充隊第三大隊編成完結
	將校及下士官は関東軍奉天、大連、新京、通化各陸軍兵事部所管滿州在住応召者
	兵は滿州第五部隊差出の約一千名を基幹としその他西部第四七部隊より到着せる編成要員を併せ大隊本部一般中隊四機関銃中隊、川俣平次下一四七八名
	日本馬二四頭なり
	編成人員内訳左記の如し
	左記
	本部　三一名　日本馬二頭
	一般中隊（指揮班、小隊三）四個中隊　計九六二名
	機関銃中隊（指揮班、小隊三）二三二名　日本馬一一頭
	歩兵砲中隊（指揮班　小隊三）（BIA BIA TIA）二二二名　日本馬二頭
	計　一、四七八名　日本馬二四頭

3177

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、一	蒲州国安東省安東（編成地）出発
三、二	中華民国浙江省諸暨縣諸暨着
	同日より大隊本部を諸暨に置き錢南地区の警備（主として金杭鉄道沿江江岸
	― 蘇溪鎮間の鉄道警備蘭山 ― 紹興 ― 百官鎮間幹公路通信線の警備）
六、三	河南作戦参加
	川崎中尉以下八一名、日本島八頭
	河南作戦参加の為岩本支隊編成
	徐州に向い出発
自昭一九、六、四	衛州作戦参加（殘留部隊）
至昭一九、七、一〇	
昭一九、八、三五	飯田少尉以下三〇名河南作戦追及の為出発
一〇、六	移駐の為諸暨出発
一〇、一〇	中華民国浙江省餘姚縣一餘姚着
	同日より同地附近警備
自 一〇、三五	錢南地区秋季剿正討伐に参加
至 一〇、三五	
昭一九、一〇、三四	中華民国浙江省鎮海縣鎮海着

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭五、一〇、三五 至昭二〇、一、三 昭二〇、二、一	中華民國浙江省鎮海縣灘浦に在りて海岸陣地構築 移駐の為発出発 同日中華民國浙江省慈谿縣に到着 同日より同地に在りて慈谿附骨幹陣地構築に着手
二、六	第六一師団（南京駐留人員）より補充要員として将校以下四一九名転入
二、二〇	軍令陸甲第一八号に依り編成改正着手
二、二五	独立混成第九十一旅団独立歩兵第六三二大隊編成完結 第一一野戦補充隊第三大隊を基幹とし大隊本部一般中隊四機関銃中隊歩兵砲中隊通信隊を以て大隊長陸軍大尉又米川信平以下六五三五名、日本馬一三頭なり、 編成人員内訳左記の如し 左記 本部　七九名　日本馬一頭 一般中隊（指揮班小隊三）四個中隊計九四六名 機関銃中隊（指揮班小隊三）二二六名日本馬六頭 歩兵砲中隊（指揮班小隊三）（RIA BIA TIA）一九七名日本馬六頭

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

	通信隊　八七名
	計一、五三五名　日本馬一三頭
	同日ヨリ一一野戦補充隊ヲ三大隊復員完結
	同日ヨリ浙東地区ノ陣地構築
二、三五	河南作戦参加中ノ川崎中尉以下約百名日本馬八頭ヲ一三一師団歩兵ヲ九五旅
	団編成基幹要員ヲ転属
三、五	輜重ヲ五一大隊ヨリ大陸馬二四頭転入
三、二〇	中支那野戦自動廠編成要員ヲ将校以下九八名転出
四、二〇	中支那野戦補充馬廠ヨリ日本馬五頭大陸馬一七頭計二二頭転入
四、六	本土兵備要員ヲ朝鮮軍管区司令部ニ将校六名転出
五、二〇	中支那派遣兵廠編成要員ヲ兵九七名転出
六、三	本土兵備要員ヲ西部軍管区司令部ニ将校以下四七名転出
六、三	本土兵備要員ヲ東部軍管区司令部ニ獣医部将校一名転出
自 六、二六	
至 七、二	集合作戦参加
自 七、二	
至 八、四	浙東地区　陣地構築

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭一〇、八、五	第七十師団より日本馬五頭大陸馬七頭計一二頭輸入
八、一四	停戦協定発布
自 八、一五	中華民国浙江省慈谿県慈谿に駐留
至 八、二三	
八、二三	慈谿出発
八、一四	中華民国浙江省餘姚県餘姚着同日より同地に駐留
八、一五	復員下令
九、二	停戦協定調印
九、一四	餘姚に於て通過部隊残置兵並衛生材料を中国第三戦区接収員に接収す
九、一五	餘姚出発
九、二六	中華民国浙江省上虞県百官鎮に於て兵器一部並獲株を中国第三区接収員に接収す
一〇、二	中華民国浙江省蘭山県山に於て馬匹六七頭兵器全部及獲株衛生材料を中国第三戦区接収員に接収す
一〇、四	中華民国浙江省嘉興県嘉興に到着
	同日より同地に駐留復員準備
二、一〇	杭州に於て残存車輌品全部を中国第三戦区日停管理処に接収す
昭二一、三、六	嘉興出発
三、九	中華民国江蘇省上海到着

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

同日より同地に駐留復員準備

四、三　内地帰還の為上海港出発

四、七　博多港上陸

一五、〇〇より復員式を挙行

将校以下一、一七二名を除隊召集解除す

同日に於ける人員現況左の如し

除隊召集解除者　一、一七二名

入院患者　六七名

生死不明者　五九名

編成以来死亡者　四二名

残務整理者　三名

四、七　大隊長副官書記一計三名　残務整理に着手す

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立歩兵第六百三十三大隊（独歩第二三一〇九部隊）略歴

陸軍大尉　岡　淑　郎

年月日	概要
昭二〇、二二	軍令陸甲第一八号に依り中支江蘇省鎮江に於て第四野戦補充隊第五大隊を基幹とし一部第四野戦補充隊第二大隊を以て独立混成第九一旅団独立歩兵第六百三十三大隊の編成に着手
二、二五	編成完結
自　二、二五	第六一師団長の指揮下に入り江蘇省鎮江附近の警備
至　四、五	
四、六	第六一師団長の指揮下を離れ原所属に復帰浙江省寧波地区移駐の為鎮江出発
四、六	浙江省慈谿県慈谿に到着
自　四、六	浙東地区慈谿鄞県鎮海附近の陣地構築
至　八、四	
自　八、五	浙江省慈谿県慈谿に駐留
至　九、六	
九、七	集中の為慈谿出発
九、三	浙江省蘭山に於て兵器接収完了

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一〇、三〇	浙江省嘉興縣嘉興に到着
昭二一、三、二六	内地帰還の為嘉興出発
四、二	上海港出帆
四、五	佐世保港上陸
	編成完結時総兵力　一二六〇名
	その後の転入　三六名
	その後の転出　一〇九名
	復員時除隊召集解除者一〇八二名
	死亡　二六名
	生死不明　一名
	入院　七八名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立歩兵第六百三十四大隊略歴

陸軍大尉　岡元正夫

年月日	概要
昭二〇、二、二〇	軍令陸甲第一八号に依り第四野戦補充隊員し独立混成第九一旅団独立歩兵第六百三四大隊編成下令
二、二五	編成完結
同日	独立混成第九十旅団に配属（於中華民国江蘇省江都県揚州）
自 二、二六	中華民国江蘇省江都県揚州駐屯同地附近の警備教育
至昭二、一、四	主要作戦次記の如し
	左記
自 四、九	歩兵一中隊を独立歩兵第六百二十八大隊長の指揮に入らしめ
至 五、八	皇軍第康家洋及合興鎮周辺作戦に参加
自 五、二七	
至 五、三	在蘇北季明陽部隊掃蕩作戦
自 二、九	
至 二、八	高郵県高郵及金邵伯鎮部隊（独立歩兵第六百二六大隊）救援作戦

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

自　三、三〇
至昭三、一、四
昭三、一、五

中国軍の江蘇省浙江両省反仝口岸鎮地区への進駐援護のため派遣作戦に参加
江蘇省口岸鎮に於て武装解除を受く
内地帰還のため口岸鎮港出帆
一、七　上海到着
二、三　上海出発
三、八　博多上陸
復員式後除隊召集解除
博多港上陸時に於ける部隊の状況
帰還人員　一〇六二名
入院患者　五〇名
死亡者　三八名
生死不明者　四二名
転属者　七九名
犯刑者　一名
現地除隊者　二八名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立歩兵第六百三十五大隊略歴

年月日	概要
昭五、二、七	臨編第一号に基づき第二二号編成下令
	第一野戦補充隊より一大隊編成着手
二、二五	第一野戦補充隊より一大隊満成完結
	将校及下士官の大部は関東軍陸軍兵事部所管の満州在住応召者
	兵は満州より五部隊より編成要員として到着せる者を基幹としその他西部より四八部隊より到着せる編成要員を併せ編成す
	該編成は大隊本部、一般中隊四ヶ中隊
	機関銃歩兵砲各一ヶ中隊を以て編成し
	中佐少佐以下総員一四七八名なり
	編成人員内訳左記の如し
	左記
	大隊本部　六六名
	一般中隊　二五六名
	計一〇二四名
	機関銃歩兵砲中隊　一九四名　三八八名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

	馬匹　日本馬　五大頭
	大陸馬　なし
三、一	蒲州国奉天省蘇家屯（編成地）出発
三、七	中華民国浙江省嵊県着
	同日より錢南地区の警備
六、三	河南作戦参加
	中井少佐以下約八〇〇名日本馬五三頭河南作戦参加の為編成地陳州に向い出発
自昭五、六、四	儀州作戦参加（残留部隊）
至　七、一〇	
自　一〇、五	錢南地区秋季肅正討伐に参加
至　一〇、二四	
自　一〇、二五	中華民国浙東地区に在りて海岸陣地構築
至　一一、三	
昭一〇、二、一一	慈谿附近骨幹陣地構築着手
二、二五	第六一師団及第一一六師団より補充要員として将校以下四三二名転入
二、二〇	軍令陸甲第一八号に依り独立歩兵第六三五大隊編成着手
二、二五	独立歩兵第六三五大隊編成完結

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
	第一一野戰補充隊第一大隊より基幹とし編成す 該編成は大隊本部一機中隊四ヶ中隊　機関銃歩兵砲中隊　通信隊を以つて編成す、 大隊長藤原大尉以下一七五三名存り 左記 大隊本部　一四六名 一般中隊　二〇〇名 計八〇〇名 機関銃歩兵砲中隊　一六〇名　三二〇名 通信隊　一〇〇名 編計　一三六六名 馬　四　日本馬　三頭
昭五〇、三五	同日第一一野戰補充隊復員完結
三、二〇	独立歩兵第六旅団より編成要員として准士官以下七五六名転入
三、二〇	中支那野戰自動車廠編成要員として将校以下二四三名転出
三、二〇	中支那野戰兵器廠編成要員として将校四名転出
四、一〇	中支那野戰補充馬廠より日本馬一八頭大陸馬五二頭転入

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、七	本土兵備要員として朝鮮軍管区司令部に将校七名転出
五、一〇	預駐の為嶮峻出発
五、一三	浙江省慈谿県着
	同日より同地に在りて浙東地区の陣地構築
五、二〇	支那派遣軍野戦造兵廠補充要員として兵一三二名転出
自昭二〇、六、二六 至 七、一	果敢作戦参加
自 七、一三 至 七、二四	浙東地区の陣地構築
八、一〇	第七十師団より日本馬二頭大陸馬二頭転入
八、二四	停戦詔書発布
八、二五	復員下令
九、二	停戦協定調印
自 八、二四 至 九、三	中華民国浙江省慈谿県慈谿に駐留
昭二〇、九、三	慈谿出発
自 九、二四 至 九、元	中華民国浙江省蕭山に駐留

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭三〇、九、三〇	蘭山出発
一〇、四	中華民国浙江省嘉興県嘉興に到着 同日より同地に駐留　復員準備
昭二一、三、五	大隊長藤原大尉以下一一三五名帰国の目的を以て中華民国浙江省嘉興県嘉興出発
三、九	大隊長藤原大尉以下一〇八九名（将校二四准士官九下士官一二八　兵九三八）はL・S・Tに依り上海出航、 三九名独立混成第九一旅団司令部二一名第一五七兵站病院に夫々転属 六名（第一五七兵站病院三名第三名第一七五兵站病院三名）す　計四六名に関しては夫々出航迄に整理を完了す。
四、二	仙崎港上陸・要員除く夫々帰郷せり
四、四	藤原大尉及吉田准尉は残務整理者として二日市至り残務整理 在務終了帰郷せり

3191

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立歩兵第六百三十五大隊（馳駆三三一一部隊）略歴

年月日	概要
昭二〇、三、二五	甲華民国浙江省嵊縣に於て第一一野戦補充隊第一大隊を基幹とし編成 該編成は大隊本部一般中隊四ケ隊機関銃中隊歩兵砲中隊通信隊を以て編成
三、二五	独立歩兵第六旅団より編成要員として准士官以下七五六名転入
三、二	甲支那野戦自動車廠編成要員として将校以下二四三名転出
四、一〇	中支那野戦補充馬廠より日本馬一八頭大陸馬五二頭転入
四、七	本土兵備要員として朝鮮軍管区司令部に将校七名転出
五、二〇	支那派遣軍野戦造兵廠編成要員として兵一三二名転出す
八、一〇	第七十師団より日本馬二頭大陸馬二頭転入す
昭和二〇、三、三五	当初中華民国浙江省嵊縣に駐屯 編成完結と共に同日より浙東地区の陣地構築
五、一〇	後駐のため嵊縣出発
五、三	浙江省慈谿県慈谿着 同日より同地にありて浙東地区の陣地構築

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭一〇、六、二六	第号作戦参加
至 七、一一	
昭一〇、七、一二	浙東地区の陣地構築
九、二二	慈谿出発
自 九、二四	中華民国浙江省蕭山に駐留
至 九、九、九	
九、二〇	蕭山出発
自昭 一〇、四	中華民国浙江省嘉興縣嘉興に駐留
至昭一一、三、五	
三、二五	内地帰還のため嘉興出発
四、二	仙崎上陸復員せり

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

独立混成第九十一旅団砲兵隊略歴

年月日	概要
昭五、二七	臨編第一号に基り第二二号編制下令
	第一野戦補充隊砲兵隊編成着手
二、二五	編制完結
	将校及下士官の大部は関東陸軍兵事部所管の満州在住応召者
	兵は満州第五部隊より編制要員として到着せる者を基幹としその他西部第四八部隊より到着せる編成要員を併せ編成す
	該編成は砲兵隊本部、砲兵中隊一を以て編成し砲兵隊長衛蘭大尉以下編員二
	二一名、日本馬四頭なり
三、二	満州国奉天省蘇家屯（編制地）出発

3194

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭一九、三、九	中華民國浙江省杭州着
	錢北地区の警備
三、三五	中支那野戦補充馬廠より日本馬一〇二頭
四、五	高射砲隊長吉田少尉以下一九名浙江に分遣
自 四、二五	京漢作戦（領水作戦）参加
至 五、三	
自 五、二四	錢北地区の警備
至 六、一	
六、二	衢州作戦参加のため杭州出発
	浙省金華着
	衢州作戦（金華地区警備）参加
六、三	河南作戦参加の為砲兵中隊長黒田中尉以下一二二名（日本馬六二頭）杭州より鎮州地保州に向い出発
自 七、四	
至 八、二〇	金華地区の警備
自 八、三	
至 九、二四	温華地区の警備

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一〇、三	總參一第一七六号に基り野砲兵第一二二聯隊要員（南京駐留人員）兵六〇三名転入
一〇、四	後発の為金華出発
一〇、一三	浙江省寧波着
自 一〇、一五	浙南地区の警備
至 一〇、二五	浙南地区秋季肅正討伐に参加
一〇、九	独立野砲兵第七六隊初年兵一八五名同第八大隊初年兵一六七名計三五二名到着
	之が基本教育を実施す
自 一〇、三	中華民国浙東地区に在りて海岸陣地構築
至昭一〇、二、四	教育担任中の独立野砲兵第七大隊初年兵一八五名原隊復帰の為寧波出発
昭九、三、六	歩兵第二三四聯隊（南京駐留人員）より補充要員として兵十一名転入
昭一〇、一、五	第十二軍独立野砲兵中隊第百十師団野砲兵第一二二聯隊（南京駐留人員）より補充要員として将校以下一七名転入
一、三〇	支那派遣軍より補充要員として見習士官一〇名転入
二、四	軍令陸甲第一八号により独立混成第九一旅団砲兵隊編制着手
二、一〇	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二〇、二五	第一一野戰補充隊歩兵第二第三大隊より補充要員として一六名転入
	中支那補充馬廠より日本馬一五〇頭転入
	独立混成第九一旅団砲兵隊編成完結
	第一一野戰補充隊砲兵隊及野砲兵第一二二聯隊よりの転入者を基幹とし編制
	該編制は砲兵隊本部並に三個中隊を以って編成
	砲兵中隊長衛藤少佐以下八二六名
	日本馬一八七頭
	河南作戰参加中の黒田中尉以下一二一名日本馬六二頭第一三二師団砲兵隊編制
	基幹要員として転出
三、二	第百十師団配属中の将校以下六〇七名中三一一名到着（他の二九六名は南京
	上海、蚌埠兵站病院に入院の為未着）
三、三	教育担任中の独立野砲兵第八大隊兵二七八名原隊復帰の為寧波出発
三、五	独立輜重兵第五五大隊より編成要員として下士官以下一五〇名転入
四、一四	移駐の為寧波出発
	中華民国新江省慈谿総着
	同地にて新東地区の陣地構築
六、一	独参一電第三一二号により第一三一師団砲兵隊より兵四名転入

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

六、七	本土兵備要員として西部軍管区司令部に下士官二名
自 六、三〇	東部軍管区司令部に見習士官一名転出
至 七、一二	集号作戦参加
自 七、一二	浙東地区の陣地構築
至 八、一四	
八、一四	停戦詔書発布
八、二五	復員下令
九、二	停戦協定締結
自 八、一四	中華民国浙江省慈谿慈谿に駐留
至 九、五	
九、六	慈谿出発
自 九、一二	中華民国浙江省紹興に駐留
至 九、二五	
九、二六	紹興出発
九、二九	師団高射砲隊分遣中の吉田中尉以下一八名原隊復帰
九、三〇	中華民国浙江省嘉興県嘉興に到着
	同地に駐留、復員準備

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二〇・一〇・五	光復軍加入のため半島出身四十一名現地除隊
昭二一・二・五	第一四兵站勤務除要員将校以下二五名反学徒出身将校七名内地帰還のため嘉興出発
二・二六	内地帰還のため隊長以下四三五名嘉興出発
二・二七	第一四兵站勤務隊人員将校以下二五名、独立混成第九一旅団司令部に転属
四・一	内地帰還のため隊長以下三一六名海防艦五九号に乗船上海出帆
	第一中隊長以下百三十八名駆逐艦に乗船上海出帆
四・三	第一中隊長以下一三八名博多港上陸
	除隊召集解除
四・四	部隊長以下三一六名博多港上陸
	除隊召集解除
	残務整理者二名
	帰員　九一二名
	召除　内　五〇九名
	現　四二名
	死亡　九九名
	転属　六〇名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

生死不明　四名
入院　一九七名

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp